

(ほぼ) 総まとめ！室戸高校のこれまでのジオパークネットワークを活用

【地球惑星科学連合大会オンライン開催で口頭発表】

1年次から防災委員として活動している橋本くるみさん（新3年次生）が、室戸高校の避難所運営マニュアルを地質・地理的な観点から検証し、より安全な避難所運営のための提案をしました。室戸市防災対策課の協力も得られ、多角的な視点で防災研究をすることができました。さらに長崎県・島原半島ユネスコ世界ジオパーク地域内にある県立口加高校の防災研究班ともオンラインで交流し、情報をゲットしたりもしています。

「どうすれば室戸高校生の防災意識を高めることができるんだろう」ということが、彼女の活動の原点にあります。彼女は3年次でも防災に関する研究を進めていく予定だと教えてくれました。

【オンラインネットワークや SNS を活用して情報発信がグイグイ進みました】

コロナ禍でも活動を止めないために…。色々試行錯誤しながら、情報発信できています。



- ・長崎県立口加高校（島原半島 UGGp）主催のオンライン探求発表会に参加
- ・徳島県三好ジオパーク構想主催の教育部会にオンライン参加し、ジオ教育について情報共有
- ・Glocal High School Meeting 2021（オンライン）に出場し、金賞・銀賞を獲得
- ・ついに室戸高校公式の Facebook が稼働！英語と日本語で情報発信
- ・ランカウイユネスコ世界ジオパークの紹介動画を作成
- ・室戸ジオパークテーマソング「僕らのジオパーク」を SNS で発信

室戸高校の Facebook ページはこちらから

【これまでの集大成を室戸市議会議場で発表！】

上記にあるような、2019年度からのジオパークを土台にした室戸高校の活動について、室戸市議会議場で発表しました。市議会議員のみなさんから多くの質問が出て、最後には記念撮影までしていました。

「みなさんが活動を通して学んだことを他の生徒に伝えながら、今後室戸高校がどんな風になればいいと思うか」という質問に対して、「同じクラス内に〈室戸にはなんちゃあない〉と思っている友達が多くいます。そういう人がどんどん少なくなって、室戸ってこんなすごいところなんだということを、ジオパーク学などを通して学んでいってもらいたいと思います」と自信を持って回答していました。



ジオパークのチーム活動～まもるチーム～

室戸ユネスコ世界ジオパークには「ひろめる」「まなぶ」「まもる」「もてなす」「かせぐ」という5つのテーマごとの推進チームがあります。これらのチームは、ジオパーク活動を通して室戸をより良くしていきたいと集まった人たちが結成され、「あんなことをしたい」「こんなことをしたらどうかな」と話しあい、少しずつ実現させています。今回はその中の一つ「まもるチーム」の取り組みをご紹介します。

まもるチームでは、室戸岬の海岸植物を「まもる」ために外来種のウチワサボテンの駆除・ペットフードとしての商品開発をしたり、機械化以前の室戸の暮らしや仕事を物語る民具が無くなることから「まもる」活動をしています。また、室戸の地域ごとに根ざしていた出汁の味を調べ、記録として「まもる」こともしています。このように「まもるチーム」では、室戸のいろいろなものを「まもる」活動をしています。

室戸ジオパークだよりへのご感想・情報提供などお気軽に下記連絡先までお寄せください！

〈発行〉室戸ジオパーク推進協議会 〒781-7101 室戸市室戸岬町 1810-2（担当：大岩）

tel: 0887-22-5161 Email: info@muroto-geo.jp URL: http://www.muroto-geo.jp/





新年度が始まります。ご入学・ご進学・ご就職するみなさん、おめでとうございます！4月からの新しい生活が有意義なものになりますように。本年度もよろしくお願い致します。

熱源としての室戸（退任の挨拶：高橋唯地質専門員より）

4月から室戸ジオパークの地質専門員を退職し、地元東京の小学校の理科教員になることになりました。皆さん、大変お世話になりました。

私にとって室戸は熱源というイメージです。例えば、備長炭の窯出しやカツオの薫焼きは目の前の赤々とした火に焼かれるような経験でした。熱源に近いほどめちゃうちゃ熱くなる、距離の2乗に反比例というやつですね。これは人同士の距離にも言えそうで、室戸では人と人の距離感が近くとても人の温もりが感じられます。そして、ジオパークの活動の中で関わった室戸の人たちは、皆心の中に熱い思いを持っている人達で、まさに熱源という言葉がぴったりです（この熱がジオパークの活動を支えているのだと思います）。私は3年間室戸という熱源から、いっぱい熱量をもらいました。

私が退職を決心したのは、別に室戸が嫌いになったからではありません（退任のご挨拶をしていると、私が室戸を嫌いになったから離れると心配する人達もいるのですが、違いますよ）。ジオパークで勤務していく中で、自分のやりたいことが少しずつ明確になり、室戸でもらった熱量を子どもたちにも分けてあげたいと思ったからです。そして、室戸から離れることで新しい目標もできました。修学旅行で子どもたちを室戸に連れて来て、実際に室戸の熱を感じてもらうことです。そのときは皆さん、どうぞよろしくお願いしますね。



室戸市内のニホンカモシカとニホンリスの調査を実施しています

体験プログラム「生き物ウォッチング」でおなじみ、動物専門家の谷地森先生を中心に、室戸ユネスコ世界ジオパーク内のニホンカモシカとニホンリスの調査を実施しています。2月13日・14日の2日間、室戸市内の19カ所に自動撮影装置を設置しました。装置の回収は3ヵ月月後の5月の予定です。

撮影した映像は、地域のみなさんにもぜひお越しいただいて、谷地森先生と一緒に、夕食を囲みながら確認できたらと思っています。新型コロナウイルス感染症の拡大状況次第になりますが... 室戸にニホンリスはいるのか、ニホンカモシカはどのあたりにいるのか... 楽しみですね。5月になりましたら、ホームページ等で日程と場所をお知らせします！また、ニホンカモシカとニホンリスの目撃情報がありましたら、ぜひ教えてください！お腹の白いリスがニホンリスです。

